

【4-10 SR レポートのまとめ】

CQ3: 挙児希望の乳癌患者の採卵に際し、調節卵巣刺激を用いることは推奨されるか？

多くの卵子を採取する目的で調節卵巣刺激が用いられるが、エストロゲンの上昇も伴うため、それが乳癌に影響を与えるか、採卵数などのIVF成績はどうかを評価することが目的。今回採用した研究はほとんど調節卵巣刺激にアロマターゼ阻害剤を併用しているため、厳密に調節卵巣刺激についての評価は困難である。このCQ本来の検討目的を果たせていないと考える。

益: 採卵数の増加 害: エストロゲンの上昇(本来はそうだが、アロマターゼ阻害剤併用により、低値で可能)